

このプロジェクトについて

「ザ・ワールド」は大橋可也 &ダンサーズ初の、リサーチをベースにしたプロジェクトである。このプロジェクトは、ある土地（江東区）をリサーチし、それをもとにダンスをつくるプロセスを重ねていく、おそらく息の長いものになるはずだ。

リサーチをもとに、踊る？　大橋が依拠する暗黒舞踏には「舞踏譜」という手法があり、テキストを身体への指示書として読み解きながら振付を行う。この考え方を応用すれば、どのようなテキストでも踊ることができる。地元の人のおしゃべりでも、リサーチの報告書でも、地図でさえも。

なぜ吸血鬼なのか？　吸血鬼の物語には二系統あり、ドラキュラのようなスーパーモンスターが超常的な力を振るうタイプと、もうひとつ、種族としての吸血鬼がひっそりと移住してくるタイプである。後者の吸血鬼は、ひそかにまちに溶け込まなければならない。協力者を見つけなければならない。見た目よく、礼儀正しくないといけない（ゾンビと違って吸血鬼は招待なしには他人の家に入れないのだ）。こうした努力はすべて、血を吸うためである。異物としてのアーティストがまちへ出ていく際の問題の一端がここにある。

このプロジェクトの吸血鬼は、血のかわりに土地の記憶を吸う。そしてまちなかに点々と、ダンスを残していくのだ。

ドラマトゥルク　長島確

「ザ・ワールド (A)」について

多くの伝承では、吸血鬼は生まれながらに吸血鬼であるわけではなく、一度死を経由することによって生み出される存在である。その吸血鬼をモチーフとした「ザ・ワールド」も死と再生の物語とあってよいだろう。

地方出身者である僕にとっては、東京は移住し続ける場所であり、6年近く居を構えるここ江東区も、いつときの仮住まいの場であると思う。そして、僕たちが作る舞台もまた、一時的に創出され、失われる必然を持った関係性が具現化する場である。

僕たちは常に何かを獲得し、失い続けている。それは誰かの生であり、死でもあるかもしれない。今日この場でその瞬間が立ち上がることを期待してほしい。

一般社団法人大橋可也 & ダンサーズ代表理事・芸術監督　大橋可也

ダンサー | プロフィール

古館奈津子（ふるたちなつこ）

福岡県出身。2006年～大橋可也&ダンサーズ参加。他にDance Company Nomade~s・神村恵の作品に出演。国枝昌人×古館奈津子として、ダンスがみたい！新人シリーズ 6・オーディエンス賞受賞。2011年フェスティバル／トーキョー公募プログラム第2次選考まで進むも落選。キッズダンス講師。2014年7月26日『ダンスがみたい！』日暮里d-倉庫にて作品発表。

とまるながこ

広島出身。大学卒業後、元パパタラフマラP.A.I.にて踊り始める。その後、劇団DA・Mを経て、2007年より大橋可也&ダンサーズに参加。またダンサーとして、Nomade~s、伊藤多恵、澤田有紀、小川水素、山田珠実等の作品に参加。フェルデンクライスのプラクティショナーとしての活動も勢力的に行っている。

阿部遥（あべはるか）

踊る黒猫。6歳よりダンスを始める。2011年『驚愕と花びら』への出演をきっかけに、以降『OUTFLOWS』『グラン・ヴァカンス』『ライノ』等の大橋可也振付作品に出演。

山本晴歌（やまもとほるか）

大橋可也&ダンサーズ公演2010年『春の祭典』（エキストラ出演）、2011年『OUTFLOWS』『グラン・ヴァカンス』に参加。現在は地歌舞古澤流家元、古澤侑峯に師事。

伊藤雅子（いとうまさこ）

クラシックバレエを松本道子に師事。河名健次氏主宰Intellect of Kawana所属。日本女子体育大学舞踊学専攻卒業、同大学院修了。現在東京大学大学院表象文化論コースで舞踊史を研究中。2013年東京新聞コンクール創作部門第三位。

川瀬雅（かわせみやび）

北海道生まれ北海道育ち。来週末に、日本女子体育大学を卒業します。今年からは自由に生きることにしました。猫、間取り図、チンパンジー、ワニ、伊豆が好きです。5月24日・25日『びちびちちゃぶちゃぶらんらんらん'14』上野天志作品に出演。

長屋耕太（ながやこうた）

京都造形芸術大学　映像・舞台芸術学科卒。小学校～高校は野球部所属。大学在学中より、舞台写真、伝統芸能石見神楽、和太鼓演奏活動を行う。卒業後、身体感覚を追求するべくダンスをはじめ。5月20、21日RAFTにて個人作品を発表予定。

麻上しおり（あさがみしおり）

高校時代に演劇、大学在学中ダンスに出会い、踊りはじめる。これまでの出演団体に鮭スベアレ、独騎の会など。大橋可也&ダンサーズは初参加となる。2014年7月26、27日『政岡由衣子単独公演』（制作担当）@横浜STスポット。

仲子（なかこ）

（公財）井上バレエ団出身。2005年度橘秋子記念財団奨学生。ジャイロキネシス®・ジャイロトニック®・ピラティス認定トレーナー。iPhoneアプリ『ルシャメソッド』製作。Atelier Le Chat主宰。

大隈智巳（おおくまさとみ）

法村友井バレエ学校にてクラシックバレエを学ぶ。大学にて創作ダンスに会う。現在大学院にて学ぶ。

リサーチャー | プロフィール

加藤雄大（かとうゆうだい）

東京都生まれ。立教大学映像身体学科在学中。大学では主に劇映画の制作を学ぶとともに、演劇や思想なども勉強中。3月15日16日に立教大学映像身体学科卒業制作展にて卒業制作が上映予定。舞台芸術に携わるのは今回が初めて。

小林あずさ（こばやしあずさ）

1989年生まれ、新潟市育ち。2010年からパフォーマンスやアートプロジェクトの企画・制作として活動を始める。主な参加プロジェクトは、『やなぎみわ演劇プロジェクト』『ぐるぐるヤーミープロジェクト』。東京藝術大学大学院在籍。

坂上翔子（さかうえしょうこ）

1988年、新潟生まれ。日本大学理工学部建築学科卒。会社の退職をきっかけに2012年より住み開きスペース『jessica』をはじめ、現在はとしまアートステーション構想に勤務しながらモラトリアム期間を過ごしている。

涌井智仁（わくいともひと）

1990年、新潟県旧川西町生まれ。音楽家。美術家集団『天才ハイスクール!!!』のメンバーとしても活動中。ピチピチした音楽をいつも作ってます！

大橋可也&ダンサーズ（おおはしかくやあんどだんさーず）

1999年結成。ハードコアダンスを提唱、暗黒舞踏の方法論を基に現代社会における身体の在りかたを追究しているダンスカンパニー。2008年に発表した『帝国，エアリアル』では関連するフリーペーパーを制作、配布するなど、ダンスの枠組みにとどまらない活動をおこなっている。2013年2月、写真家GO撮影による初の写真集『Books, Phantoms』を発売。2013年7月には、日本SF界を代表する作家、飛浩隆による長編小説『グラン・ヴァカンス』をダンス作品化、発表した。船橋陽、大谷能生、空間現代ら先鋭的なミュージシャンとの共同作業も多くおこなっている。

長島確（ながしまかく）

日本におけるドラマトゥルクの草分けとして、コンセプトの立案から上演テキストの編集・構成まで、身体や声とともにあることばを幅広く扱う。ベケットやサラ・ケイン、ヨン・フォッセらの戯曲の翻訳のほか、阿部初美、中野成樹をはじめさまざまな演出家や劇団の作品に参加。また『墨田区／豊島区／三宅島／淡路島在住アトレウス家』『長島確のつくりかた研究所』等のアートプロジェクトも手がける。ミクストメディア・プロダクト／中野成樹＋フランケンズ所属。

2013年

4—6月、ブレ・リサーチを開始

5.11 深川モダン館のまち歩きガイドツアーに初参加。

7—8月、リサーチャーの公募

10名の応募者と面談。うち4名の参加が決定。

9—11月、リサーチャーとともにリサーチを開始

9.11 深川モダン館のまち歩きガイドツアーに各自参加。

9.12 隅田川を挟んだ中央区側から、江東区を見る。

9.26 隅田川沿いの夜景を見る（昼と夜の比較）。

10.8 門前仲町から東陽町エリアへ（早朝）。

11.8 東雲エリア、空き倉庫探し。

11.14 南砂、仙台堀川の親水公園、木場エリアを自転車で移動。

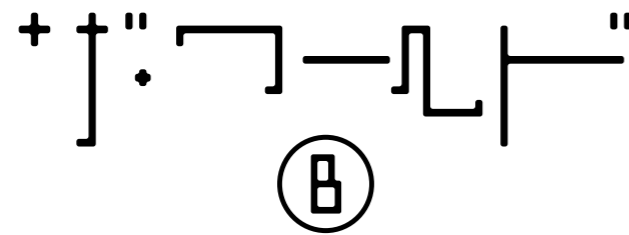
11.21 豊洲から木場エリアへ。

12月、リサーチャーからダンサーへリサーチ内容を共有開始。

12月中旬—1月上旬、ザ・ワールド（A）出演者募集。

2014年

1—2月、ザ・ワールド（B）に向けた会場リサーチとインタビューを各自進める。



インスタレーション／トーク

リサーチとダンスパフォーマンスが並行して（／交互に）進められるこのプロジェクトの特質をよく伝えるために、ダンスの上演とは別に、写真や音響、映像、トークを含む多角的な展示の場を設けます。まちなかでふと吸血鬼のけはいに気づき、そばだてられる耳、こらされる目。それらが捉えるのは吸血鬼の姿ばかりでなく、江戸開闢以来形づくられてきた土地の記憶であり、これから2020年へ向けてさらに変貌していく土地の姿でもあるでしょう。

2014.3.29 [土], 3.30 [日]

牡丹町商店街会館（予定）

江東区牡丹3-6-5, 門前仲町駅徒歩5分

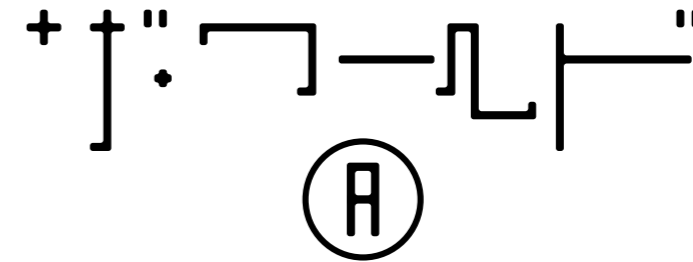
【展示】12時—20時（参加費無料）

【トーク】18時—19時30分（参加費 500円）

出演＝梅山いつき（演劇学者）※30日のみの出演

大橋可也, 長島確

大橋可也 & ダンサーズ



ダンスパフォーマンス

2014.3.8 [土], 3.9 [日]

森下スタジオ [Cスタジオ]

上演時間：約70分

振付・構成・演出——大橋可也

ドラマトゥルク——長島確

【出演】

古舘奈津子, とまるながこ, 阿部遥, 山本晴歌, 伊藤雅子

川瀬雅, 長屋耕太, 麻上しおり, 仲子, 大隈智巳

【リサーチャー】

加藤雄大, 小林あずさ, 坂上翔子, 涌井智仁

音楽・音響——涌井智仁 照明——筆谷亮也 舞台監督——原口佳子（モリブデン）

衣装——ROCCA WORKS 写真——GO (go-photograph.com)

宣伝美術——石塚俊 コーディネーター——及位友美 (voids)